

I .業績概要

2022年度中間決算のポイント

主要計数計画・実績	2022年3月末実績	2022年9月末実績	2023年3月末計画	中計最終年度 2023年3月末目標
親会社株主帰属利益 (連結当期純利益)	206億円	159億円	240億円	200億円
ROE (株主資本ベース)	4.38%	6.60%	5.0%	4%以上
OHR	59.17%	57.91%	62.0%	60%台
自己資本比率	11.59%	11.96%	12.9%程度(※)	(計画期間中) 10%以上

※規制改正の早期適用後
(規制改正完全実施後 12.3%程度)

収益

過去最高を更新

		(前年同期比)
・親会社株主に帰属する中間純利益 (連結)	159億円	(+21億円)
・中間純利益 (単体)	150億円	(+22億円)

預貸金

期末残高		(前年同期比)
・預金+NCD	8兆8,386億円	(+1,813億円)
・貸出金	6兆2,223億円	(+1,912億円)
うち中小企業等貸出金	4兆977億円	(+880億円)

2. 2022年度中間決算概要

【単体】

(単位：億円)

	21年度 中間	22年度 中間	前年同期比
業務粗利益	478	467	△ 11
資金利益	411	421	10
役務取引等利益	56	59	3
その他業務利益	10	△ 13	△ 23
うち国債等債券損益	6	△ 32	△ 38
経費	273	270	△ 3
実質業務純益	205	196	△ 9
コア業務純益	198	229	31
除く投資信託解約損益	193	221	28
一般貸倒引当金繰入額 (A)	28	△ 9	△ 37
業務純益	176	205	29
臨時損益	1	1	0
不良債権処理額 (B)	△ 0	15	15
その他	0	17	17
うち株式等関係損益	2	15	13
経常利益	177	207	30
特別損益	△ 3	△ 1	2
中間純利益	128	150	22
信用コスト (A) + (B)	28	6	△ 22

増益要因

- ・コア業務純益の増加
(+31億円)
- ・株式等関係損益の増加
(+13億円)
- ・信用コストの減少
(△22億円)

減益要因

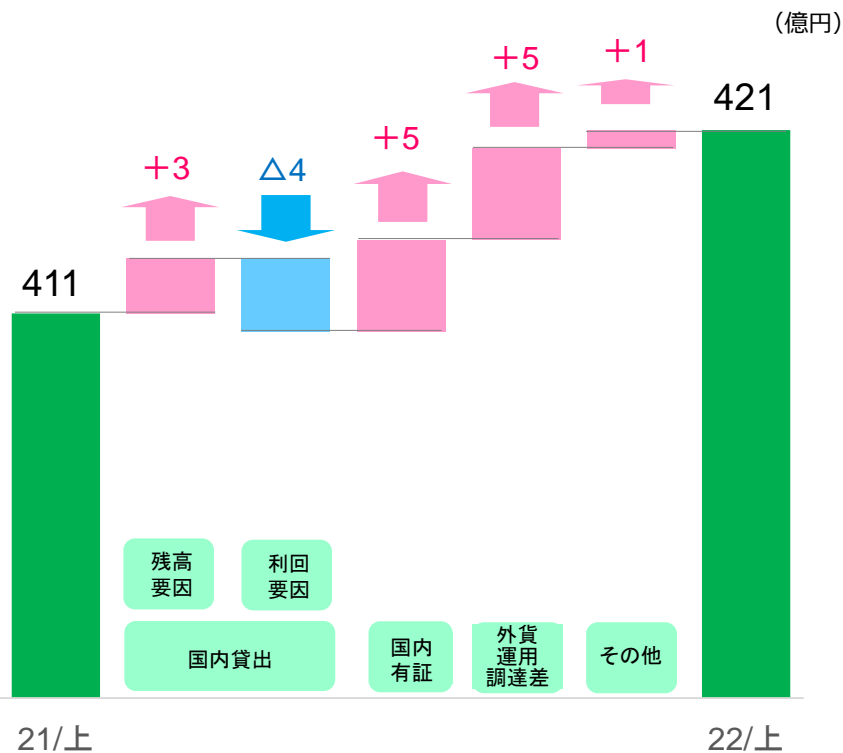
- ・国債等債券損益の減少
(△38億円)

【連結】

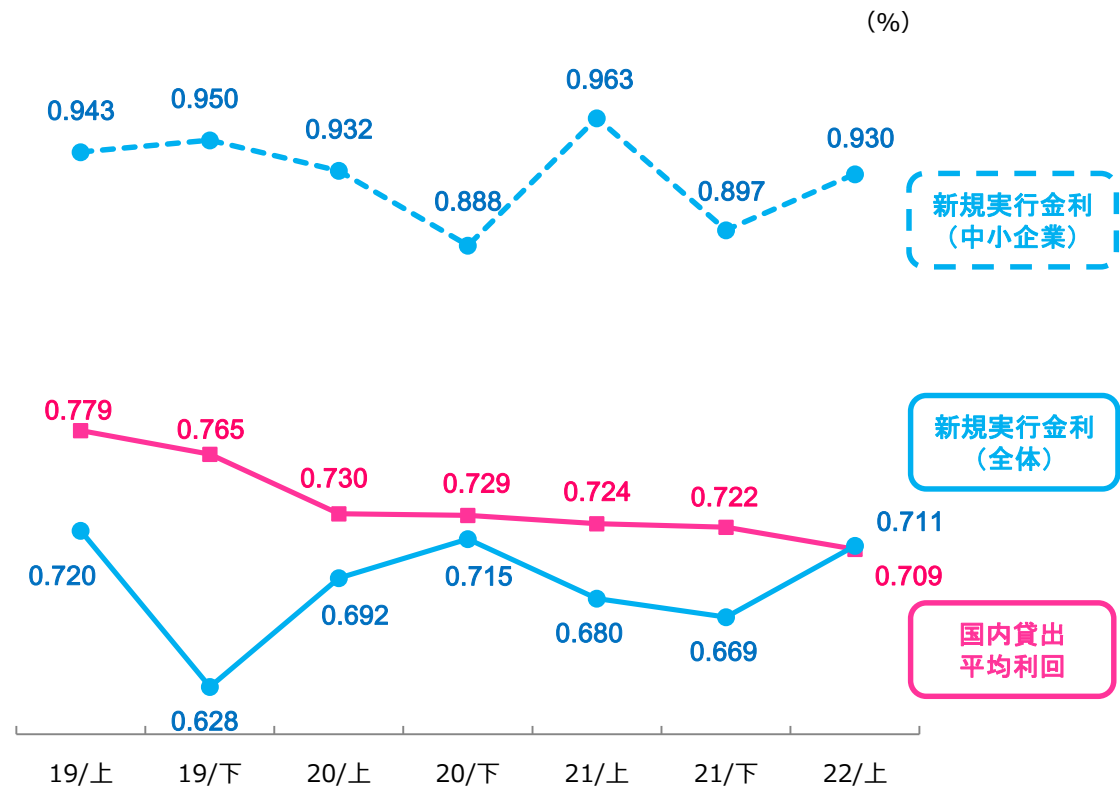
連結粗利益	504	494	△ 10
連結経常利益	192	222	30
親会社株主に帰属する中間純利益	137	159	21

3. 貸出資金利益・利回

資金利益の増減要因（単体）



国内貸出金利の推移（単体）



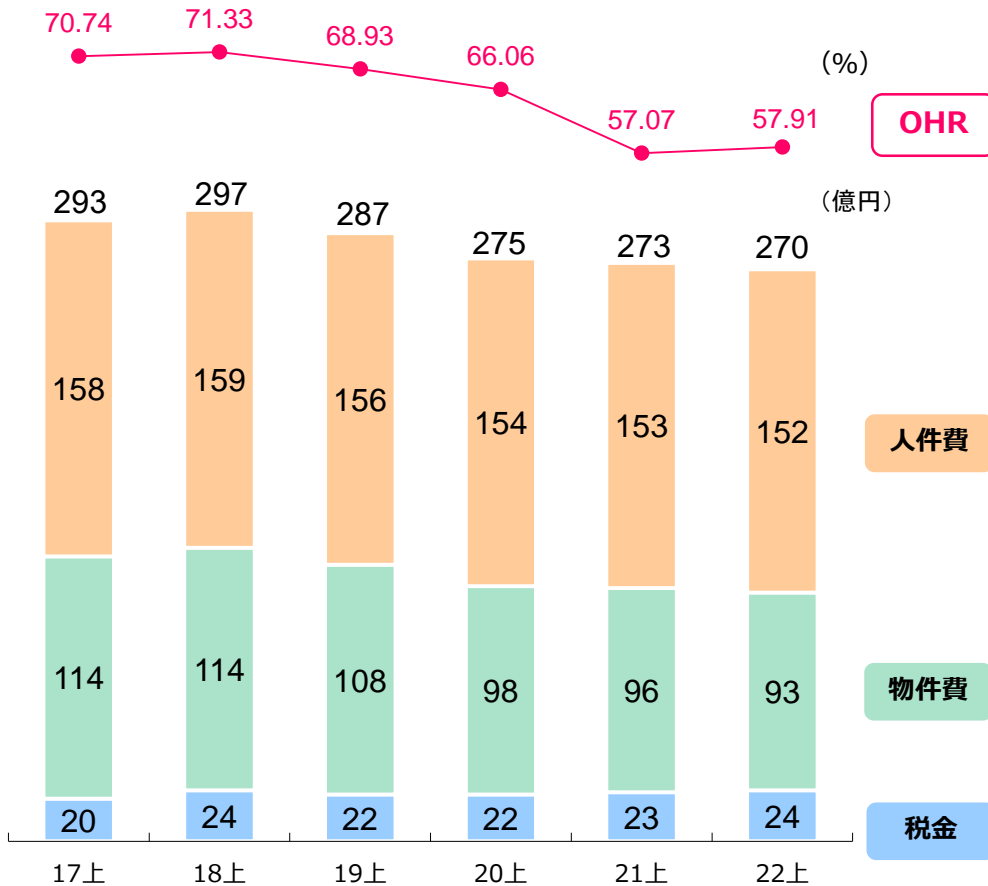
<国内貸出利息増減額の推移>

(単位：億円)

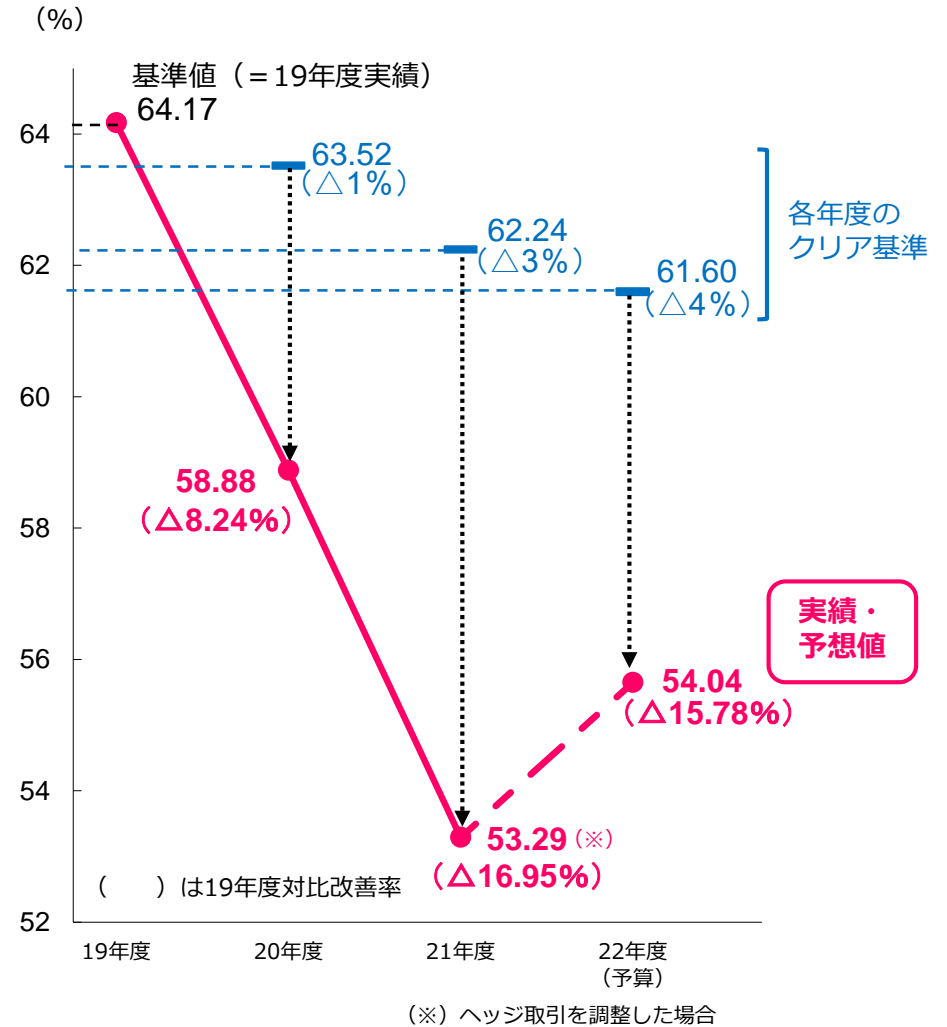
	20/上	21/上	22/上
増減額	4	3	△ 1
残高要因	18	5	3
利回要因	△ 14	△ 2	△ 4

4. 経費とOHR

経費とOHRの推移(単体)



日本銀行の特別当座預金制度に基づくOHR



(注) 日本銀行「地域金融強化のための特別当座預金制度」に基づくOHR (連結)

$$= \frac{\text{連結経費 (減価償却費等を除く)}}{\text{連結業務粗利益 (国債等債券売却損益等を除く)}} \times 100 (\%)$$

5. 信用コスト・開示債権の状況

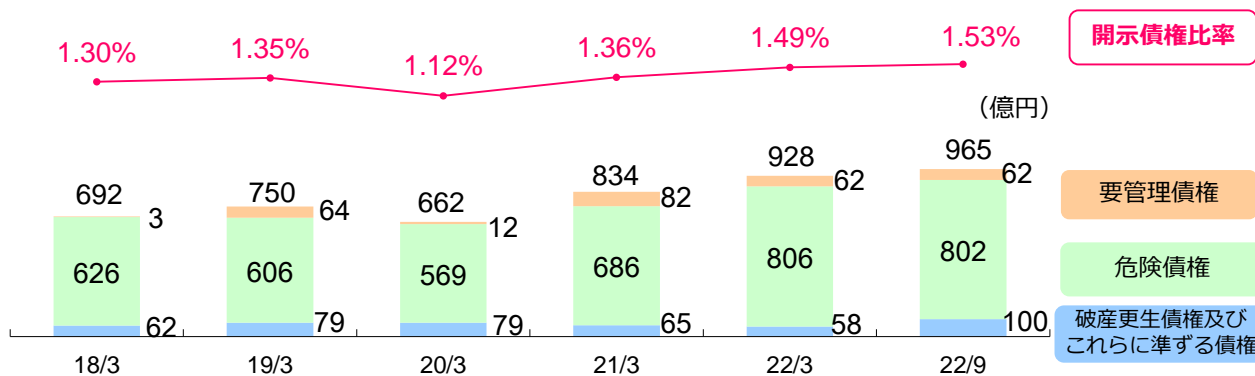
(単位: 億円)

信用コストの内訳 (単体)	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年上期	22年度 (予算)
個別貸倒引当金純繰入額	0	20	14	63	29	15	20
新規不良債権の発生に伴う処理額	10	30	28	74	41	18	
回収等による取崩し	△ 8	△ 8	△ 13	△ 9	△ 23	△ 4	
ランクアップによる取崩し	△ 3	△ 2	△ 0	△ 2	△ 0	△ 0	
不動産担保価値下落に伴う処理額等	1	0	△ 0	0	12	2	
貸出金償却	1	—	0	—	0	0	0
貸出債権売却損	0	1	0	1	1	—	0
その他	0	2	4	2	△ 0	0	1
不良債権処理額 ①	1	24	19	66	29	15	22
一般貸倒引当金純繰入額 ②	△ 5	△ 1	△ 2	21	(※) 80	△ 9	7
信用コスト ①+②	△ 3	23	17	87	109	6	30

金融再生法開示債権 (単体)

(※) 新型コロナウイルス感染症などの先行きの不確実性の高まりに備えた引当を実施

<残高及び比率の推移>



【単体】

	21年度	22年度 (予算)	純利益	
			前年度比	当初予想比
業務粗利益	904	865	△ 39	△ 12
資金利益	789	757	△ 32	13
役務取引等利益	108	112	4	2
その他業務利益	6	△ 4	△ 10	△ 27
うち国債等債券損益	△ 0	△ 29	△ 29	△ 41
経費	535	537	2	0
実質業務純益	369	328	△ 41	△ 12
コア業務純益	370	357	△ 13	29
除く投資信託解約損益	362	349	△ 13	21
一般貸倒引当金繰入額 (A)	80	7	△ 73	0
業務純益	289	321	32	△ 12
臨時損益	△ 28	△ 9	19	12
不良債権処理額 (B)	29	23	△ 6	0
その他	1	14	13	12
うち株式等関係損益	8	13	5	7
経常利益	260	312	52	0
特別損益	△ 7	△ 5	2	0
当期純利益	187	222	35	0
信用コスト (A)+ (B)	109	30	△ 79	0

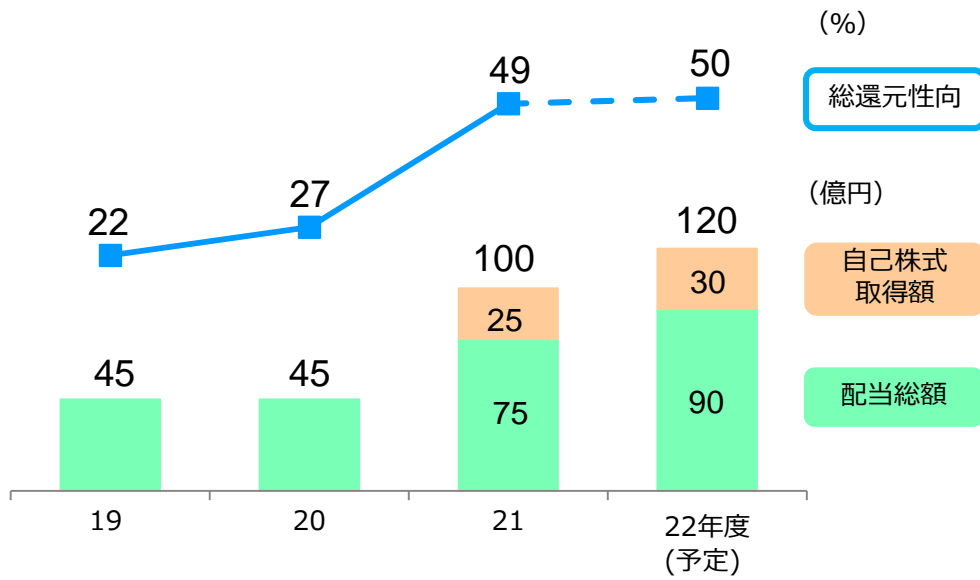
【連結】

親会社株主に帰属する当期純利益	206	240	34	0
-----------------	-----	-----	----	---

外債処理に伴う下振れをその他の収益でカバーすることにより、当初の予想どおり、単体の純利益は222億円、連結の純利益は240億円と、前年度比で増益を見込む。

7. 株主還元・自己資本

株主還元の推移

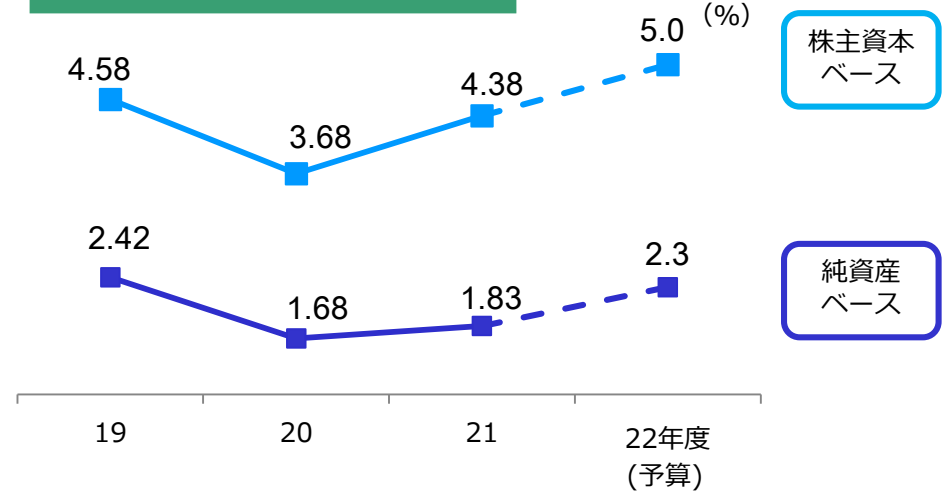


$$\text{総還元性向} = \frac{\text{配当総額} + \text{自己株式取得額}}{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}} \times 100 (\%)$$

〈一株当たり配当金の推移〉



連結ROEの推移



自己資本比率の推移

